

保護者の皆さまへ

組換え沈降B型肝炎ワクチン(酵母由来) 「ヘプタバックス[®]-II」接種後の注意

- 接種後に注射部位の痛みや発赤、倦怠感、発熱などの副反応がみられることがあります。
- 接種後に体調の変化や異常な症状がある場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
- 接種部位は清潔に保ってください。特に揉む必要はありません。
- 接種当日の入浴は差し支えありません。
- ワクチン接種後30分は、まれに急な副反応が起こることもありますので、安静にしてください。また、接種医とすぐに連絡が取れるようにしてください。
- 接種当日は、過激な運動は避けてください。
- ワクチン接種後1週間は、副反応の出現に注意してください。



監修：名鉄病院予防接種センター
顧問 宮津光伸 先生

定期接種の対象は？

定期接種では、1歳になるまでに合計3回の接種を行います¹⁾。生後2カ月、生後3カ月、生後7～8カ月が標準的な接種時期です²⁾。

3回の接種のうち、異なる製剤(製品名)のB型肝炎ワクチンを接種しても問題ないのでしょうか？

母子健康手帳に貼付されているシールの種類が異なっても大丈夫でしょうか？

基本的には、3回の接種を同一の製剤で行うことが望ましいと考えられますが、切り替えて接種する場合であっても、定期の予防接種としての実施は可能です。切り替えて使用した場合の有効性及び安全性についても検討されています²⁾。

**B型肝炎ワクチンは、
定期接種の対象年齢を過ぎても接種できます。**

B型肝炎ワクチンは定期接種の対象年齢を過ぎてしまった場合でも、任意接種として接種可能です。接種費用については、先生にご相談ください。

1) 定期接種実施要領

<https://www.mhlw.go.jp/content/001089221.pdf>

(2023/4/26アクセス)

2) 厚生労働省 B型肝炎ワクチンに関するQ&A

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000137554.pdf>

(2023/4/26アクセス)

病医院名